

## CO<sub>2</sub> 排出量の削減に向けて

### カーボンニュートラルな都市ガスの導入・自然エネルギー小型発電設備を設置

株式会社 FTS は東邦ガス株式会社より「カーボンニュートラルな都市ガス」を導入することを決定しました。

「カーボンニュートラルな都市ガス」とは、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する CO<sub>2</sub> を CO<sub>2</sub> クレジット<sup>※1</sup>により相殺(カーボンオフセット)したカーボンニュートラル液化天然ガス(LNG)です。 ※1. 世界各地の環境保全プロジェクトなどにおける CO<sub>2</sub> 削減効果を CO<sub>2</sub> クレジットとして認証したもの

導入により、当社は下記の通り約 9,000 トンの CO<sub>2</sub> 削減を見込んでおります。

- 期間 2022年4月～2027年3月末(5年間)
- 場所 本社工場、広田工場、実験センター
- 内容 現在使用している都市ガスの全量を「カーボンニュートラルな都市ガス」へ切替え
- CO<sub>2</sub>削減効果 約9,000トン(5年間合計)

当社は、2030年までにCO<sub>2</sub>排出量を'13年度比“半減以上”にする事を目標に掲げており、ライフサイクル全体でのカーボンニュートラルの実現に向けて推進していきます。

また9月19日には本社正門側に、NTN株式会社製の風力と太陽光自然エネルギーを利用した小型の発電設備(グリーンパワーステーション)を設置しました。ここで発電した電力は、同ステーションの時計および社名モニュメントの夜間照明に利用し、年間約50kgのCO<sub>2</sub>を削減します。災害時等の停電の際には蓄電池からの給電が可能のため、事業継続計画(BCP)の対策としても活用いたします。



FTS 本社 グリーンパワーステーション